

# ●小平第十一小学校の建て替え

十一小は、1967年に建築され、建物の老朽化が進んでいることなどから、建て替えることが決まり、新しい十一小に関する基本計画を令和3年秋頃までに策定する予定です。

初めての  
取組です。



- ① 学校の建て替え
- ② 施設の複合化
- ③ 地域自治の推進

例えば、高齢者の  
見守り、地域防災  
等も含めた視点

3つをポイントにおき、**将来的に小学校を拠点とした更なる地域コミュニティが醸成されるよう、**取組みを進めています。

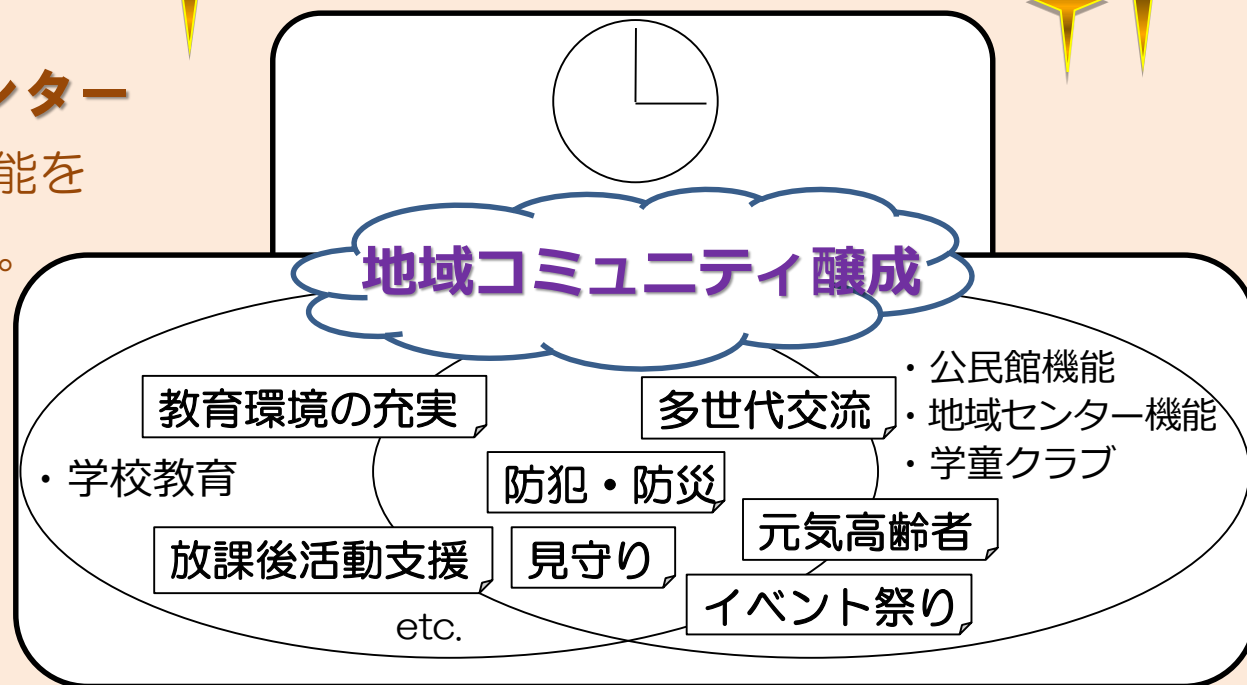
# ●小平第十一小学校へ複合化する公共施設の方向性

地域学習、コミュニティ機能を学校と複合化することにより、**小学校を地域の核**とした地域コミュニティの醸成を図ります。

花小金井北公民館、  
花小金井北地域センター  
及び**学童クラブ**の機能を  
小学校へ複合化します。



小学校を地域の核とした  
地域コミュニティの醸成



## ●小平市では

---

将来の人口減少、公共施設の老朽化等、公共施設を取り巻く環境が変化する中、これからの公共施設のあり方等について取り組む**公共施設マネジメント**を推進しています。



# ●将来に向けた大きな3つの課題

①人口減少・少子高齢化

②財政バランスの悪化

③施設の老朽化・更新時期の集中



課題に対応するため…



4つの方針を掲げました。

①魅力あるサービスの実現

②持続可能な施設総量

③コストの縮減と平準化

④長く活用できる施設

いつまでも  
わくわくする場を  
みんなで創ろう

# ●複合化のメリット・考え方

地域センター、公民館は、小学校に複合化する場合、床面積を縮減

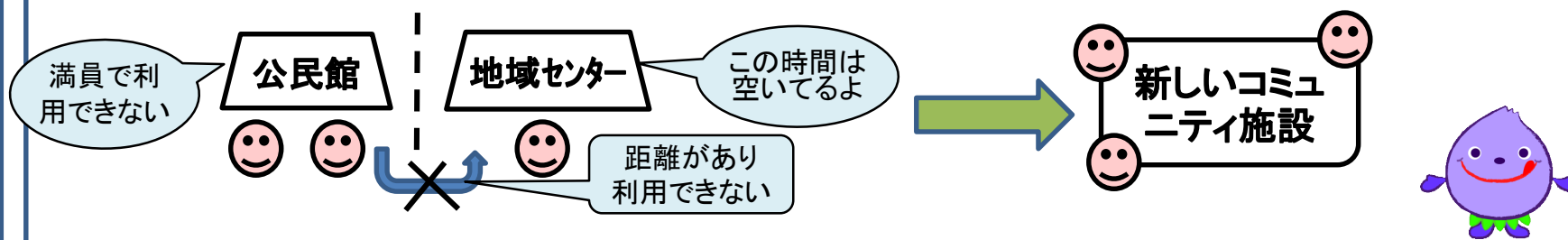
とありますが…

例えば、

小学校の図工室、音楽室、家庭科室等の特別教室が地域開放※できた場合、  
現在ない機能の部屋が+αになります。

※現行の「学校施設の学習・文化開放に関する要綱」では、六小の特別教室を対象とし、開放日は土日休日の終日と平日夜間のみです。

新しいコミュニティ施設では、これまで離れた場所に設置されていた部屋  
について、稼働の空きゾーン※を互いに有効に利用し合えます。



※利用率の例：地域センターの集会室40%代、娯楽室20%代

現在、公民館には和室が1つ、地域センターに和室が2つありますが、新しいコミュニティ施設に和室3つが必ず必要かと考えると、調整できる可能性があります。

# ●複合化の考え方

地域センター、公民館は、小学校に複合化する場合、床面積を縮減

とありますが…

施設の複合化では、例えば、廊下やロビー等の共用スペース、エレベーター等の設備、機械室等を共用化することで面積の縮減を図ったり、貸し部屋は、学習室、集会室等の目的別に設けるのではなく、複合施設の中で共用化・多目的化することにより、単独施設と比べ効率的な運営ができるよう取組みます。

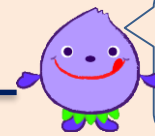
また、小学校の特別教室の地域開放による共用化等も検討していきながら、これまでの活動の継続が困難にならないよう、現状を踏まえながら検討していきます。

**いつまでも わくわくする場を みんなで創ろう**

魅力的な学校空間を創出、これまでにない価値を生み出す、  
複合化によって、むしろ活動の域を増やすこと等を意識して、  
皆さんの活動を活かせる学校との複合化をイメージしてください。

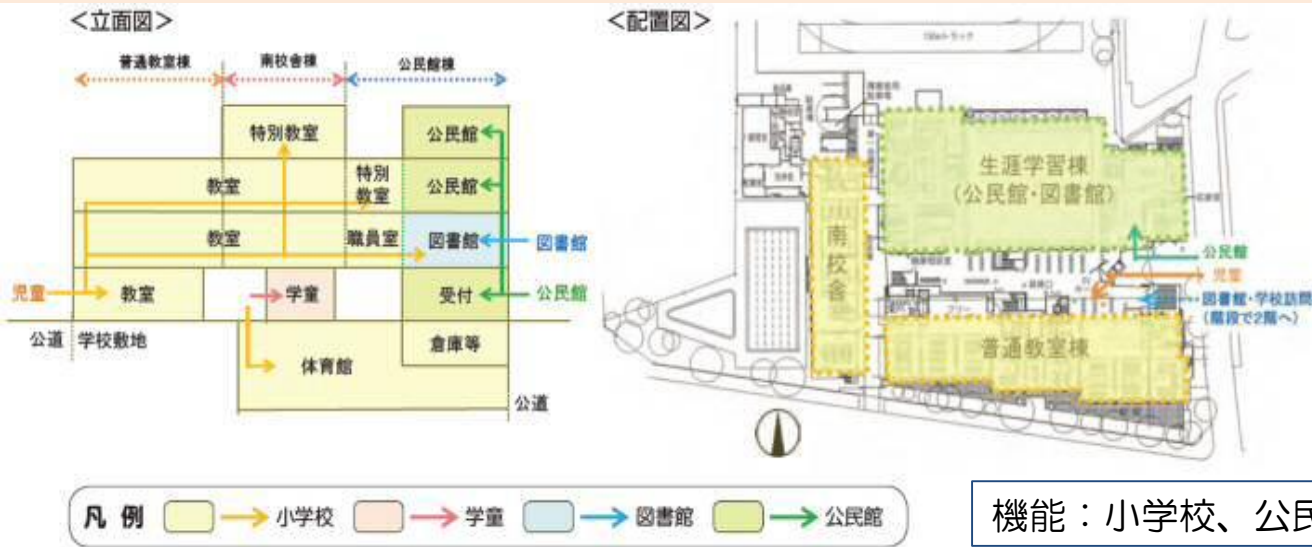


# ●学校の複合化 他市の事例紹介



地域ごとに、用途地域等、建築するにあたっての制約条件があります。事例は参考としてご覧ください。

## 埼玉県 志木市立志木小学校



### ●施設の相互利用により、児童と地域の学習活動の幅を拡大

- ・ 小学校と生涯学習施設の併設により児童と地域社会との直接的なふれあいの場を創出。
- ・ 特別教室について、児童が利用しない時間帯は一般市民へ開放。

### ●ハードとソフトを使い分けた柔軟な防犯対策による、児童の活動範囲の拡大

- ・ ガラス張りの壁等、見通しのよい施設であり、目が届きやすい。
- ・ 学校の安全主任は図書館・公民館とも適宜打合せを実施。危機管理マニュアル作成。常駐警備員の配置、3施設合同の避難訓練・防犯訓練。防犯監視カメラの設置。利用者は入館証を着用。など

# ●学校の複合化 他市の事例紹介

## 埼玉県 吉川市立美南小学校

機能：小学校、公民館、高齢者ふれあい広場  
子育て支援センター、学童保育室

1階部分に公民館などの地域施設を配置。小学校の特別教室や体育館も、地域施設とはゾーニングを明確に分離しつつ1階に配置し、学校時間外に地域開放するにあたって、管理しやすくしている。

### 施設の配置・動線

地域の利用者が利用する各施設や学校開放にも使用する特別教室は1階に配置し、普通教室や職員室などの諸室は2階以上に配置することで管理をしやすくしている。

1階の中庭は学校と地域の利用者が自然に交流できるスペースとして設置している。

### <立面図>

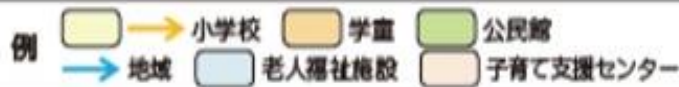


### <配置図>



児童と地域利用者の入口を明確に分けて、地域利用者は事務室前を通る動線とすることで、セキュリティに配慮している。

普通教室は2階以上に設置。学校運営時間以外、階段の防火扉を閉めて外部からの侵入を防いでいる。



多世代が利用する施設が複合化することにより、地域コミュニティの拠点となっていたり、避難訓練を複合施設利用者と学校で共同実施しており、地域防災にも寄与している等の効果が示されています。